

令和7年度養殖衛生管理技術者養成 本科基礎コース研修開催要領

1. 目 的

現在の国内防疫を担う都道府県職員や漁業協同組合の職員、今後の国内防疫へ寄与すると考えられる獣医師等を対象に、養殖現場の指導を行うことのできる養殖衛生管理技術者を養成する。また、養殖衛生管理対策等に協力する者に対し、必要な知識、技術の講義を実施し、技術者の養成および層の拡大を図ることを目的とする。

2. 開催日時・場所

①対面及びオンライン（Zoomを予定）

令和7年6月23日（月）～7月4日（金）

公益社団法人 日本水産資源保護協会 会議室

（〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル5F）

※参加人数により、都内別場所に変更となる可能性があります。

②オンデマンド（獣医師向けに開講）

令和7年9月16日（火）～11月28日（金）

開講期間中に各講義の動画を動画共有サイトにおいて公開する。講義動画の URL は協会担当者より受講者宛に連絡する。

3. 科目・講師および時間割

別表のとおり。

なお、都道府県庁において養殖衛生管理行政に携わる者については、魚病学総論、持続的養殖生産確保法、医薬品医療機器等法、食品衛生法のための受講も可とするが、今後、本科実習コースの受講を希望する者は、本科基礎コース研修の全科目を対面もしくはオンラインで受講すること。

4. 受講資格

地方公共団体等が推薦する者。又は、養殖業関係団体等が推薦する者等や獣医師であって、養殖衛生管理対策等に協力する者。

5. 受講申請

受講希望者は、受講申請書（別添様式）に所定の事項を記入し、地方公共団体等※の場合は機関の代表者、その他の場合は養殖業関係団体等の推薦を受け、公益社団法人日本水産資源保護協会事務局長あて、提出すること。

※地方公共団体等には、都道府県、地方独立行政法人、国立研究開発法人、市町村、漁業協同組合連合会、漁業協同組合、都道府県或いは市町村の栽培漁業協会等の職員を含む。

なお、市町村、都道府県の漁業協同組合連合会、漁業協同組合、都道府県或いは市町村の栽培漁業協会の申請者は、管轄の都道府県を經由して受講申請書を提出す

ること。

【提出先】

(郵送の場合) 〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町ビル 5 階

(公社) 日本水産資源保護協会 事業部 板垣・大西・北村宛

(メールの場合) fdc@fish-jfrca.jp

(問い合わせ先) 03-6280-5033 担当：板垣・大西・北村

【提出期限】

令和 7 年 5 月 23 日 (金) 17 時 (郵送の場合は必着)

6. 受講決定通知

受講申請書に基づき受講者を決定し、本人および申請者、推薦者あて通知する。

7. 受講方法

①対面・オンライン

開催期間中に対面もしくはオンラインで受講する。協会担当者より毎日出席確認を行う。

※原則、当該コースの全ての科目について対面もしくはオンラインで受講した者を本科基礎コース研修の修了者と認める。

②オンデマンド（獣医師向けに開講）

申請書に必ず Gmail アドレスを記入する。協会担当者より講義動画の URL を連絡するので期間中に動画の視聴を行う。

8. 講義資料

各講義において資料配布予定。

講義資料等の当協会からお渡しする資料については、著作権等の関係から当事者限りの閲覧とし、複製や第三者への配布等を行わないこと。

(参考図書)

『魚介類の感染症・寄生虫病』監修 江草周三、編集 若林久嗣・室賀清邦（恒星社厚生閣）

9. その他

各科目の詳細については、シラバス『養殖衛生管理技術者成研修「本科コース」講義内容』を参考のこと。シラバスは 5 月 12 日 (月) 以降に当協会のホームページ (URL: <https://www.fish-jfrca.jp/05/boueki.html>) に掲載するので、そちらを参照すること。

令和7年度養殖衛生管理技術者養成本科 基礎コース研修 科目および講師

科 目	時間	氏 名	所 属
魚病学総論	3	佐野 元彦	国立大学法人東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科
細菌病	8	吉田 照豊	国立大学法人宮崎大学農学部
	6	泉 庄太郎	学校法人東海大学海洋学部
ウイルス病	5	佐野 元彦	国立大学法人東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科
	5	笠井 久会	国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究院
寄生虫病	6	白樫 正	学校法人近畿大学水産研究所
	2	伊藤 直樹	国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科
	2	横山 博	学校法人加計学園岡山理科大学獣医学部獣医学科
真菌病	6	倉田 修	学校法人日本医科大学日本獣医生命科学大学
養殖漁場環境論	2	清水 園子	国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター
免疫学	2	中西 照幸	株式会社ゴトー養殖研究所
食品衛生法	1	鶴身 和彦	公益社団法人日本食品衛生協会
		佐々木 慎治	厚生労働省健康・生活衛生局食品監視安全課
薬機法	1	森口 優佳	農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課水産安全室
持続的養殖生産確保法	1	佐藤 文夫	農林水産省消費・安全局畜水産安全管理課水産安全室
水産動物学※1	2	間野 伸宏	学校法人日本大学生物資源科学部
合計時間数	52		

(敬称略)

※1 水産動物学の受講は任意。

※2 各講義の詳細はシラバスをご確認ください。

令和7年度養殖衛生管理技術者養成本科基礎コース研修 時間割

時 限 月 日	1	2	3	4	5	6
	10:00～ 11:00	11:00～ 12:00	13:00～ 14:00	14:00～ 15:00	15:15～ 16:15	16:15～ 17:15
6 月 23 日 (月)					水産動物学 間野先生	
24 日 (火)	持続法 佐藤様	薬機法 森口様	魚病学総論 佐野先生		魚病学総論 佐野先生	
25 日 (水)	細菌病 吉田先生		細菌病 吉田先生		細菌病 吉田先生	
26 日 (木)	細菌病 吉田先生		ウイルス病 佐野先生		ウイルス病 佐野先生 (～18：30)	
27 日 (金)	寄生虫病 白樫先生		寄生虫病 白樫先生		寄生虫病 白樫先生	
6 月 30 日 (月)	食品衛生法 鶴身先生(10：00～10：30) 佐々木様(11：00～11：30)		免疫学 中西先生		寄生虫病 横山先生	
7 月 1 日 (火)		ウイルス病 笠井先生	ウイルス病 笠井先生		ウイルス病 笠井先生	
2 日 (水)	養殖漁場環境論 清水先生		寄生虫病 伊藤先生			
3 日 (木)	細菌病 泉先生		細菌病 泉先生		細菌病 泉先生	
4 日 (金)	真菌病 倉田先生		真菌病 倉田先生		真菌病 倉田先生	

(敬称略)

※選択コース研修(基礎)は基礎コース科目を選択して受講する